

2023年3月2日
株式会社 ケミトックス

ケミトックスが生分解性試験設備(海水、土壌、コンポスト対応)を一挙導入し国内で受託試験サービスを開始 海外認証取得サポートまでワンストップで対応

(株)ケミトックス(本社 東京都大田区上池台 1-14-18 代表取締役 中山紘一)は、世界的に関心の高まっている生分解性材料の評価を行うための設備を一挙に導入し、受託試験サービスを開始した。

気候変動によるとされる災害の深刻化を受け、持続可能な社会の構築への関心が今まで以上に高まりを見せている。プラスチックについては、その使用量を削減する様々な試みが行われている一方、環境負荷低減のため、包装材料や食品容器、また農業資材などを中心として生分解性プラスチック(Biodegradable plastic)やバイオベースプラスチック(Bio-based plastic)の使用が拡大しつつある。

しかしながら、一口に生分解性と言ってもその内実は様々で、当該材料がどのような環境で、どの程度分解するかについては、実際に試験によって生分解度の検証を行う必要がある。世界では、欧州、米国、日本を中心として、試験で確認された生分解度に基づいた、生分解性材料の認証システムも整備されつつある。

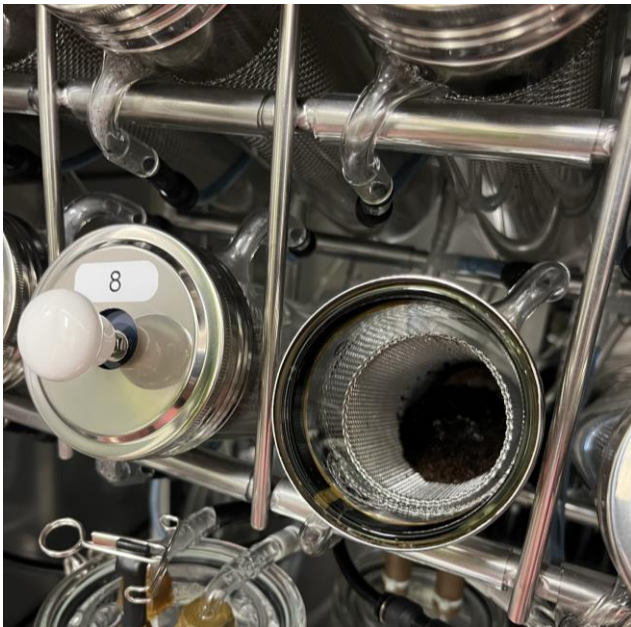
こうした状況を踏まえ、ケミトックスでは、国際規格に基づき生分解度の試験を実施できる設備を一挙に導入した。海水、土壌、コンポストなど様々な植種源に対応が可能な仕様となっており、合計48点の測定を同時に行うことができる。試料の生分解により発生した二酸化炭素量を継続的に測定し、試料の理論上の二酸化炭素発生量に基づき生分解度を算出する。

特に海水生分解については、マイクロプラスチックによる環境汚染が世界的な問題となっている中、関心が急激に高まっている一方、試験設備を保有している機関は世界的にもまだ少ない状況となっている。同社は、海水生分解の試験を中心に、更なる設備の拡張を計画している

さらに、同社は海外試験所や認証機関とのつながりも強く、幅広いネットワークを構築している。それを活用して、自社設備での受託試験から、海外認証取得のための試験や申請のサポート業務まで、ワンストップでサービスを提供する体制を整えている。試験と認証の両面から、国内顧客へのサービスの拡充を会社全体の方針として推進していく。



《コンポストを用いた生分解性試験設備》



《生分解性試験の試験容器》



《海水を用いた生分解性試験設備》

【当該企業の概要】

名称：株式会社ケミトックス

代表者：代表取締役 CEO 中山 紘一

所在地：東京都大田区上池台 1-14-18

設立：1975年9月3日

資本金：49百万円

主な事業：生分解性試験、及び生分解性認証取得サポート

鉄道車両、航空機、建材、水道関連製品、食品接触材料等に関する海外規格試験実施、及び規格対応コンサルティング

リサイクル材認証取得サポート

太陽電池の安全性・信頼性評価

バッテリーの安全性、信頼性評価

全固体電池の試作、性能評価

高分子材料等の燃焼性、耐熱性、機械性などの各種特性評価

有害化学物質の環境分析、プリント基板の故障解析および信頼性試験

UL 認証など、海外の認証取得コンサルティング

通訳・翻訳サービス

ホームページ：<http://www.chemitox.co.jp/>

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社ケミトックス 国際事業部 マネージャー 藤岡 博明

TEL :03-3727-7111

E-mail :hi-fujioka@chemitox.co.jp